

Green Festival 2005

第230回

10月15日(土) 15:00 開演

●林泉弦楽四重奏団 コンサート

ヴァイオリン/林 泉 ヴァイオリン/宮下和子
ヴィオラ/賤津 進 チェロ/林口真也
—ベートーヴェン 弦楽四重奏曲全曲連続演奏 第4回—

第231回

10月29日(土) 15:00 開演

●小林美恵(ヴァイオリン)・清水和音(ピアノ) デュオの午後

—ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ全曲連続演奏 第2回—

第232回

11月5日(土) 16:00 開演 (開演時刻にご注意下さい)

●仲道祐子 ピアノ・リサイタル

第233回

11月12日(土) 15:00 開演

●明石大蔵谷の獅子舞

「大蔵谷獅子舞保存会・大蔵谷西之組獅子舞保存会」
おはなし/寺嶋秀明 (人文学部教授)

第234回

11月19日(土) 15:00 開演

●長谷川陽子 チェロ・リサイタル

ピアノ/横山幸雄

第235回

12月4日(日) 15:00 開演

●神戸学院大学管弦楽団 第11回定期演奏会

指揮/松井隆司

第236回

12月17日(土) 15:00 開演

●神戸学院大学学生放送局 第28回放送祭 ~足跡~

入場無料

会場/神戸学院大学(有瀬キャンパス)メモリアルホール(9号館) 主催/神戸学院大学 後援/兵庫県・(財)神戸市民文化振興財団 参加/関西元気文化圏

●お申込方法 ●官製往復ハガキを使用してください。

- 申込者多数の場合は抽選になります。
- 往信裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号をご記入ください。
- 返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
- 返信表面は空白のままをお願いします。
- 1枚につき1公演、1名様のみのお申し込みになります。
- 受付期間は各公演の1カ月前～2週間前(必着)です。
- 学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。

●お申込み・お問い合わせ先

〒651-2180 (郵便番号のみで到着します)
神戸学院大学グリーンフェスティバル係 電話078-974-1607 (担当課 学生生活課)

●交通経路と所要時間

- ① JR「明石」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約20分)
- ② 神戸市営地下鉄「伊川谷」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約15分)
- ③ JR「朝霧」駅より「神陵台行」バスに乗車、終点下車後徒歩約12分
- ※お車でのご来場は固くお断りいたします。



林泉弦楽四重奏団 コンサート

- 曲目 ●ベートーヴェン……弦楽四重奏曲 第5番 イ長調 作品18-5
- ベートーヴェン……弦楽四重奏曲 第15番 イ短調 作品132

昨年春から始まった好評のベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲の連続演奏第4弾。種類の多いクラシック音楽のジャンルの中でも弦楽四重奏曲は最も地味なものひとつと考えられますが、それだけに毎回、心からこのジャンルを愛される大勢のお客様に支えられていることに感謝いたします。ベートーヴェンの後期の四重奏曲はこれまでに人間が生み出した最も深い精神的世界のひとつと評されていますが、作品132の第3楽章「病癒えた者の神に対する聖なる感謝の歌」は皆様の心に深く染み入るものとなるでしょう。

小林美恵(ヴァイオリン)・清水和音(ピアノ) デュオの午後

- 曲目 ●ベートーヴェン……ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第2番 イ長調 作品12-2
- ベートーヴェン……ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第6番 イ長調 作品30-1
- ベートーヴェン……ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第9番 イ長調 作品47「クワイツェル」

いま3種類のベートーヴェン連続演奏が進行中(ピアノ協奏曲は年1回のため次回は明年秋)ですが、ヴァイオリンとピアノのためのソナタは全10曲を3回に分けてご披露します。6月に行われた1回目は名手お二人の白熱の演奏に会場が大いに沸きました。曲の組合せは小林さんが考えられたものですが、今回は全10曲の中のイ長調作品ばかりを並べられたのも意図的なものでしょう。トリをつとめるのは最も有名な「クワイツェル」。期待が高まります。小林さんは6回目、清水さんは2回目のフェスティバル登場です。

仲道祐子 ピアノ・リサイタル

- 曲目 ●リスト……エステ荘の噴水(「巡礼の年報」第3年「イタリア」より)
- リスト……6つのポーランドの歌(ショパン「17のポーランドの歌」作品74による)
- リスト……献呈(シューマン「ミルテの花」作品25-1による)
- リスト……愛の夢(「3つの夜想曲」第3番)
- リスト……ため息(「3つの演奏会用練習曲」第3番)
- リスト……ピアノ・ソナタ ロ短調

3年ぶり2回目のフェスティバル登場。申すまでもなく、私どものレジデント・アーティストである仲道郁代さんの妹さんです。ドイツで名教師クラス・シルデ氏に師事されたのはお姉さんと同じですが、ミュンヘン国立音楽大学の大学院を出られてからは、しばらくドイツのハンブルクを拠点に活動され、その後日本へ移られて10年を迎えようとしています。リストはショパンと並んで、ピアニストにとって無視できない作曲家ですが、今回は得意とするこの人の作品ばかりで固めた注目すべきプログラミングです。上記作品にはお姉さんがよく弾かれるものも含まれていますが、お姉さんとまた異なるすばらしい感性をお楽しみいただけたらと思います。

明石大蔵谷の獅子舞

獅子舞は古来、日本各地で演じられてきた伝統芸能であり、悪霊を退散させ、無病息災、五穀豊稔を祈願する超自然的な力の演舞です。明石大蔵谷には、江戸時代から伝えられてきた伝統のすばらしい獅子舞があります。毎年10月なかば、明石稲爪神社の秋祭りでは、神社の門前にて宮入として華麗に演じられるほか、数日にわたって町の家々の門付をします。演じられる芸の種類は20を超え、ときには凛として勇壮に、またときには優美繊細に舞われます。面方との軽妙洒落な掛け合いもあります。これらの多彩な芸が一気呵成につぎつぎと繰り広げられる明石大蔵谷の獅子舞を保存会の皆様に披露していただきます。獅子舞の魅力と醍醐味を充分にご堪能ください。(企画協力・神戸学院大学地域研究センター)

長谷川陽子 チェロ・リサイタル

- 曲目 ●グリーグ……チェロとピアノのためのソナタ イ短調 作品36
- ショパン……マイアベーアの歌劇「悪魔のロベール」の主題による協奏的大二重奏曲 遺作
- ショパン……チェロとピアノのためのソナタ ト短調 作品65

レジデント・アーティストの長谷川陽子さんがお好みのソナタをあるテーマにまとめて披露してくださる企画の4回目。これまで「フランスもの」「ロシアもの」「若書きのソナタ」と続いてきましたが、今回は「ヨーロッパ周辺国のソナタ」として北欧ルウエイを代表するグリーグとポーランドのショパンの作品。グリーグのソナタは北歐風の味がよく出た名曲ですが、どういふわけか日本でとりあげられる回数は必ずしも多くないようで、今回は貴重な機会と言えましょう。また、「ピアノの詩人」と称されるショパンがピアノ以外に興味を示したほぼ唯一の楽器がチェロで、こちらはチェリストがよくとりあげます。19回目の登場の陽子さんが今回選ばれた横山幸雄さんのすばらしいピアノもまた期待に胸が弾みます。

神戸学院大学管弦楽団 第11回定期演奏会

- 曲目 ●ベートーヴェン……序曲「エグモント」 作品84
- シューベルト……交響曲第7(8)番 ロ短調 D.759「未完成」
- チャイコフスキー……交響曲第5番 ホ短調 作品64

グリーン・フェスティバルは大学での催しであるという特色を出すために、長年出演を要請してきた吹奏楽部に続いて、管弦楽団にも出演を依頼するようになって3年目になります。部員集めの困難および部員の顔ぶれの毎年の変動を克服しながらがんばる若者たちへのご声援をよろしく願い申し上げます。曲目は当然ながら部員の合議で決定しており、今回初めてチャイコフスキーに挑戦いたします。

神戸学院大学学生放送局 第28回放送祭 ～足跡～

- 録音劇……色鮮やかな光と臨場感あふれる声で送られる音のストーリー
- 演出劇……放送祭の中での暑休め。他とは一味違う世界をご興味ください。
- 生 劇……アナウンサーの声と効果音が織り成す朗読劇。彼らの声にご注目ください。

放送祭とは、録音劇、演出劇、生劇の三部から構成されており、各々の劇で「放送という一見広がりやうのないカテゴリを如何に発展させるか?」という大きな課題に取り組みます。我々学生放送局は個性派揃いです。その学生放送局員が一年間の集大成として披露する放送祭。持てる個性を限界まで発揮し、ご来場いただいた皆様を大いに楽しませたいと思っております。ぜひご来場ください。